



第43回埋蔵文化財調査資料展

盛岡を発掘する

—令和7年度調査速報—

会期：令和8年2月7日(土)～5月17日(日)

会場：盛岡市遺跡の学び館 企画展示室



盛岡市遺跡の学び館
ホームページ

令和7年度 調査成果報告会

日時：令和8年3/1(日) 13:30～15:30

会場：当館研修室（定員80名）、資料代200円

報告遺跡：上米内遺跡、小山遺跡、右京長根遺跡、里館遺跡、国史跡 盛岡城跡（予定）

募集方法：2/4(水)10:00～応募フォームまたは電話にて受付（先着順）

【開館期間】9:00～17:00（入館は16:30まで）

【休館日】毎週月曜日（祝祭日にあたる場合は翌平日）、毎月最終火曜日

【入館料】変更になる可能性がありますので、最新の情報については当館ホームページをご覧ください、お電話にてお問い合わせください。

【交通案内】JR東北本線・JR東北新幹線「盛岡駅」から車で5分、徒歩20分

東北自動車道「盛岡IC」から車で20分

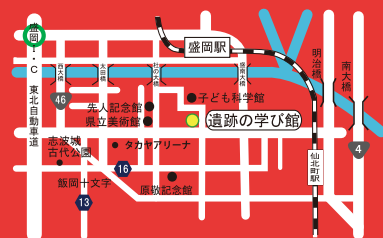
岩手県交通バス盛岡ループ「総合プール前」・「県立美術館前」バス停から徒歩7分

岩手県北バス盛岡駅西口、イオン盛岡南行き「杜の道北」バス停から徒歩9分

【お問合せ】〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13-1

TEL: 019-635-6600 FAX: 019-635-6605

盛岡市 遺跡の学び館

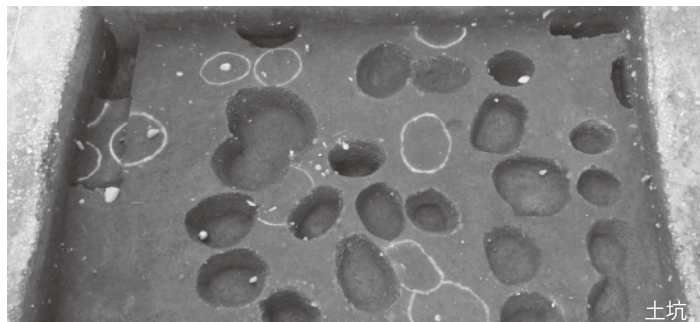


盛岡を発掘する

—令和7年度調査速報—

かみよない 上米内遺跡

第8次調査（上米内）



土坑

米内川流域の低位段丘上に位置する縄文時代の集落遺跡です。過去の調査では竪穴建物跡を90棟以上確認しています。

今回の調査では、縄文時代晩期の^{いづつぼうがんそう}土坑59基と遺物包含層が見つかりました。遺物は、縄文時代晩期の土器・石器が多く出土しました。

こやま 小山遺跡

第45次調査（東中野町）



炉跡

盛岡市街地から南東に約2kmの丘陵地に立地する縄文時代の集落遺跡です。

今回の調査では^{たてあな}竪穴建物跡2棟、^{どこう}土坑6基、^{しょうけつ}小穴2口が見つかりました。竪穴建物跡では^{ろあし}炉跡とみられる焼土と^{はいせき}配石を確認しました。遺物は縄文土器、土偶、石器が出土しました。

さたて 里館遺跡

第72次調査（北天昌寺町）



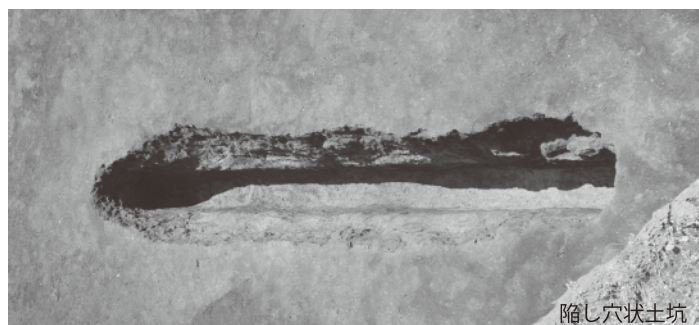
調査区
全景

^{しずくいしがわ}雫石川北岸の台地上に位置しています。過去の調査では、特に現在の天昌寺付近から15～16世紀の豪族の城館跡が見つかりました。

今回の調査では、中世以降のものと考えられる^{どこう}土坑2基と^{しょうちゅうけつ}小柱穴16口が発見されました。

うきょうながね 右京長根遺跡

第6次調査（緑が丘）

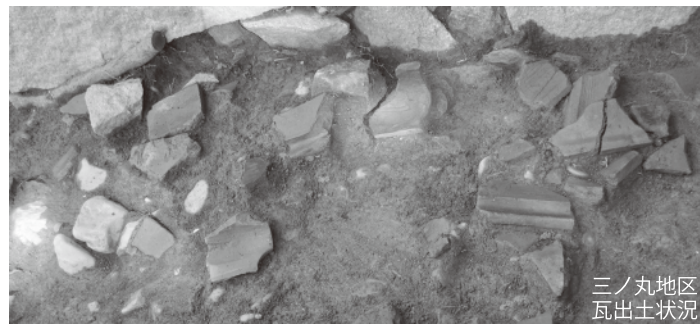


陥し穴状土坑

^{きたかみがわ}北上川東岸の丘陵に位置する縄文時代の遺跡です。これまでの調査でも縄文時代の^{あなじょうどこう}陥し穴状土坑が数多く発見されており、^{しりょう}狩猟の場としての利用が想定されます。

今回の調査では土坑を1基確認しました。この土坑は動物の^{どこう}陥し穴として利用されていたと考えられます。

くにせき もりおかじょうあと 国史跡 盛岡城跡



三ノ丸地区
瓦出土状況

^{きたかみがわ}旧北上川と^{なかつがわ}中津川の丘陵を利用して築かれた平山城で、初代盛岡藩主の南部信直と2代藩主の利直が、約40年もの歳月をかけて築いた南部氏の居城です。築城当時の石垣が良好に残されていることから、昭和12年(1937)に国指定史跡となりました。

三ノ丸地区では瓦門の内容確認調査を行い、瓦門周辺の塀に使われていたと思われる瓦が多く出土しました。本丸地区では、^{ほんまるごてんあと}本丸御殿跡等の確認調査を行い、平成5年度の調査で発見された礎石を再確認したほか、新たに礎石13石を確認しました。

第48・49次調査（内丸）



本丸地区
調査区全景

今年度は5遺跡の発掘調査を実施しました。

発掘調査によって明らかになった最新情報をもとに、盛岡の新たな歴史の一面をぜひご覧ください。